

(IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval)

## 1. IWVTAの概要と期待される効果

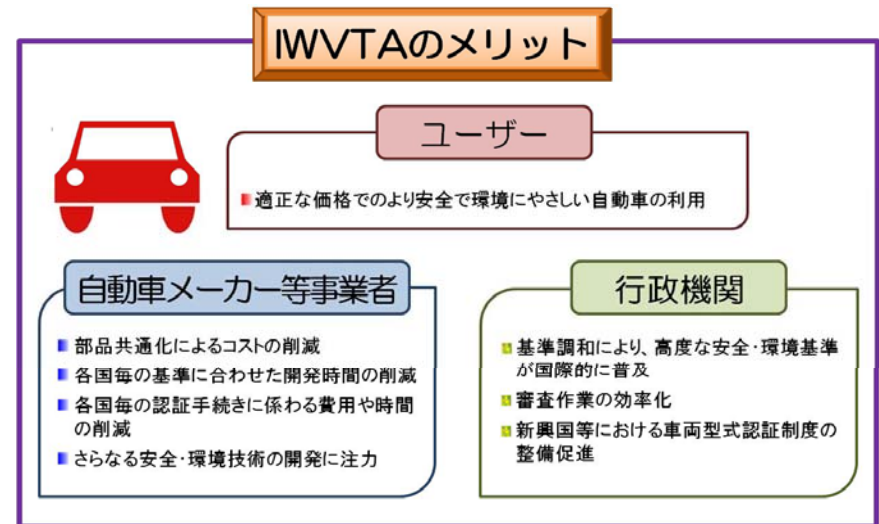
○1958年協定に基づく自動車に係る認証の相互承認を「装置単位」から、「車両単位」へ発展する制度。



○基準調和及び認証の相互承認により、設計仕様の統一や部品の共通化を通じて、開発・認証・生産コストが低減。

○アジア等の新興国においても、国際的に調和のとれた車両型式認証制度の整備が促進。

## IWVTAのメリット



## 2. 経緯と今後の展望

**2007年11月** IWVTA創設の構想を国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP29)の場で日本から発表。

**2009年11月** 国内での検討を重ね、IWVTA創設の提案をWP29で行い、満場一致で可決。

**2010年3月** WP29の下にIWVTAの専門家会議が設置され、EU・豪州・南ア・露等各国が参加し議論が開始。日本と欧州委員会が共同副議長に就任し、全体の活動をリード。

**2012年3月** 専門家会議の2年間の活動の成果として、IWVTA創設のためのロードマップ、1958年協定改定項目、IWVTAに必要な技術法規リスト等、IWVTAの大筋の枠組みに関してWP29の場で合意。

**2012年6月** ロードマップに基づく取組をWP29において開始(1958年協定の改定、IWVTA 法規作成作業等)。

2016年3月のIWVTA創設を目指して取組を進めていく